

保護者等からの放課後等ディサービス事業所評価の集計結果(公表)

別添資料11

公表: 2024年3月1日

事業所名 放課後等ディサービスAmi

保護者等数(児童数)25 回収数 22 割合 88%

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	20	2				国の指定基準を満たしており基準より余裕のある広さを保っています。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	18	2		2	・いつも、心身共に変化に気づいて対応して頂いています	ありがとうございます。今後も個々の特性を理解し寄り添う支援を行っていきます。
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	22					
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等ディサービス計画*1が作成されているか	22					保護者面談だけではなく指導員が日々の様子を観察し児童一人一人のその日の様子を活動報告者に記入し変化を見落とさず成長に繋げていきます。
	5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	22				・多様なプログラムで息子が今日は何をするのかな？と楽しみにしています。	専門性が高い保育士、英語教員、保健体育教員、が毎日の療育プログラムを考案実施し子ども達が楽しみながら身に付くを基本に提供させて頂いています。
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	8	2	4	1		他の児童発達支援事業所との関わりを持つ機会を増やす為わいわい広場参加や交流を積極的に行っていくほかに地域交流を図る為、社会福祉協議会のイベントや地域のイベントに参加していきます。
保護者への 説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	22					定期的な保護者面談以外に電話や送迎時、連絡帳を通じてお伝えしております。また、ご質問やご意見に関してもいつでもお答えできる体制を整えております。
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	22				学校との連携についての悩みや課題に対しても一緒に考えてくださっています。	Ami利用時だけではなく学校やご家庭で困る事が一つでも減りできる事が増える様に自立支援を目指しております。今後も共に支援に携わらせていただきます。
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	22					ご家族様が気軽に子育ての相談や話しが出来る場所(Ami)でありたいです。
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	12	3	1	6	・保護者同士のつながりを持つ機会を増やして欲しい ・舞洲での親子遠足では弟も参加させていただきました。	親子参加の行事を年2回、保護者交流(Ami会)の機会を持っていますがご意見を踏まえて今後は親子交流を年(3回)に増やすほか、保護者交流(Ami会)を開催して参ります。是非ご参加ください。
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	18			5		ご意見を頂ける体制を整えております。苦情やお困り事にも迅速に対応できるように努めております。
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	22				送迎場所の急な変更などLINEなどで連絡できると助かります。	送迎用携帯(2台)の端末のショートメールをご活用いただけます。
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	20	2				毎日の活動の様子を見ていただけるように連絡帳にAmiブログQRコードの添付やお声掛けを行って周知頂いております。是非ご覧ください。
	14 個人情報に十分注意しているか	22					施設された書庫で保管し、知りえた情報は守秘義務としています。
非常時等の 対応	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	19	1		2	・各マニュアルを年に一回書類として頂ければ再度確認出来てありがたい	・年度の節目に各マニュアルをお渡しできるように作成を致します。
	16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	15	1		5		春と秋のAmiで行う防災訓練の他に近くの消防署での消防体験を行っております。
満足度	17 子どもは通所を楽しみにしているか	17	2	2		・学校の延長という意識があり朝に行くのを嫌がる時がありますが帰りはニコニコ帰ってきます。	・フリータイムもありますが集団行動の中で対人コミュニケーション向上、SSTトレーニングなどの療育プログラム考案実践をメインとしております。プログラムを考案する際に楽しく身に付くように保育士、英語教員、保健体育教員、児童指導員が子どもの興味をそそる事を前提に日々プログラムを組み立て提供しております。これからも多くの児童が「楽しかった!」と笑顔がある中で集団行動を学び社会のルールが身に付き自立につながる支援を行っていきます。
	18 事業所の支援に満足しているか	22				・特に問題ありません良いところです。ありがとうございます	ありがとうございます。今後も数ある放課後等ディの中でAmiで良かったと感じて頂ける様取り組んでまいります。

*1 放課後等ディサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的な内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等ディサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。